

大会要項

2023年6月吉日

関係者各位

公益社団法人 宮崎県柔道整復師会
会長 山内 眞

第7回宮崎県柔道整復師会少年柔道形競技会

(兼)文部科学大臣杯争奪第13回日整全国少年柔道形競技会予選会の開催について(ご案内)

初夏の候、皆様には益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

さて公益社団法人 宮崎県柔道整復師会におきましては、本年度の日整全国少年柔道形競技会に向けて、第7回宮崎県柔道整復師会杯少年柔道形競技会を、下記の要項で開催することになりましたので、各道場奮ってご参加いただくようご案内申し上げます。

記

- 日時 令和5年8月6日(日)
第22回宮崎県柔道整復師会杯争奪少年柔道大会終了後
- 会場 ひなた武道館 柔道場
〒889-2151 宮崎県宮崎市熊野2206-1
TEL 0985-58-5151
- 趣旨 講道館柔道において「形と乱取」は「文法と作文」に例えられるように修業の一体となす。特に「形」は柔道技術の基本形態の攻防の原理を学ぶ心身研磨の道である。柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦並びに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 主催 公益社団法人 宮崎県柔道整復師会
- 後援 宮崎県柔道連盟・宮崎地区柔道協会・宮崎日日新聞社・宮崎県柔道場連盟
- 出場資格 (1) 監督と出場選手は令和5年度全日本柔道連盟に登録済みである事。
(2) 出場選手は4年生・5年生・6年生(但し、3年生以下の参加は認めない)
(3) 各所属団体責任者の引率が無い選手は出場資格が無いものとする。
(4) 選手変更は開会式前までに、監督が事務局に申し出る事により認める。
(5) スポーツ安全保険に加入している事。
- 選手団 (1) 構成 監督 1名 選手 2名
(2) 参加チームは各道場3組までとする。
- 競技種目 投の形(手技・腰技・足技のみ)計9本

- 9、競技方法
- (1)5名の審査員で構成し、演技は各組1回とする。
 - (2)審査員5名の採点のうち、最高点と最低点を除いた3名の審査員の合計を100点満点に換算し順位を決定する。
 - (3)取・受を一体と見て評価し、『形』の技、及び『礼法』、『全体の流れ』を各10点満点で採点する。
 - (4)その他、審査基準の細部については、別途定める。
 - (5)その他、不測の事態が生じた場合の処置は、審査委員長に一任する。

10、会議 審査員、監督会議は競技開始前に会場にて行う。

11、表彰 優勝・準優勝を表彰する。

12、代表選手 4年生～6年生の形の部、優勝者1組を第13回日整全国小年柔道形競技会(令和5年11月19日 講道館)に宮崎県代表として派遣する。
2名の宮崎県代表選手には、全国大会用柔道着を公益社団法人宮崎県柔道整復師会から贈ることとする。
必着する様に申し込む事(FAX・メールも可)

〒889-0611

住所 宮崎県東臼杵郡門川町大字門川
尾末8017-3

TEL 0982-63-0408

FAX 0982-63-0408

E-mail tyo-fuku0077@dra.bbiq.jp

大会事務局 坂本 慎吾 宛

※ 詳細についての問い合わせは、上記大会事務局までどうぞ

- 14、その他
- (1)スポーツ障害保険については、各団体において事前に参加しておく事
 - (2)大会当日の事故については、応急処置は施すが主催者において責任を負わない。
 - (3)試合中の監督・保護者は静粛に観覧すること。
 - (4)大会当日は柔道場入口での最初の受付時に抽選で順番を決めます。
 - (5)競技は、柔道の第2試合場で行います。